

# 平成30年度 公益財団法人 日本体操協会

## 第1回理事会議事録

- 1.日 時 平成30年6月10日(日) 13時00分～14時20分
- 2.場 所 フォーラムエイト6階 660会議室
- 3.出席者 <理事>
- 二木会長、塚原副会長、具志堅副会長、石崎副会長  
山本専務理事、遠藤常務理事、水鳥常務理事、塚原千恵子常務理事、  
山崎常務理事、中田常務理事、竹内常務理事、荒木理事、田坂理事、  
村木理事、福井理事 16名
- <欠席>
- 竹村常務理事、米田常務理事、加納理事 3名
- <監事>
- 竹田監事、高橋監事 2名

### 4.議題

4. 1. 審議事項
- (1) 専務理事 平成30年度第1回評議員会開催に関する件
  - (2) 事務局長 平成29年度事業報告
  - (3) 事務局長 平成29年度決算報告
  - (4) 専務理事 第72回全日本体操団体選手権大会要項
  - (5) 総務委員会 器械・器具検定申請について
  - (6) その他
4. 2. 報告事項
- (1) 体操男子 2018年度日本代表合宿スケジュールについて
  - (2) 広報委員会 大会解説者について
  - (3) 審判委員会 2018全日本個人総合選手権体操女子誤審報告
  - (4) 専務理事 所属/個人スポンサー契約条項違反の対応について
  - (5) 事務局長 2018AGU総会について
  - (6) その他

## 5.二木会長挨拶

平成 29 年度は、世界選手権では、体操男女、新体操、トランポリンともメダル獲得し、2020 東京オリンピックに向けてよいスタートが切れた。

今年も体操男女、新体操、トランポリンともに世界選手権に向け、メダル獲得を目標に強化を図っていただきたい。いち早く東京オリンピックの出場権を確保することが最重要課題である。

今年のアエロビック世界選手権に日本男女が、シングルでのダブル優勝を遂げた。今後、国際大会も続くので、今後とも頑張っていただきたい。

## 6.権限審査

本日、理事会の出席者は 16 名であり、定款第 7 章第 39 条の定足数 10 名を超えているので本会議は合法的に成立していることを渡邊事務局長より報告した。

## 7.議長就任

定款第 7 章第 38 条の定めるところにより、二木会長が議長に就任した。

## 8.議事録署名人

議長は、議事録署名人として議長ならびに竹内常務理事の 2 名を指名し、議場に諮り、全員が賛同した。なお、出席の竹田、高橋監事は定款第 43 条第 2 項の規定により、理事会議事録に記名押印することとなる。

## 9.審議事項

### 第 1 号議案 平成 29 年度第 1 回評議員会開催に関する事項

山本専務理事は、資料に則り、次の説明を行った、

開催日時：平成 30 年 6 月 24 日（日）13 時から

開催場所：岸体育会館 5 F 504—505 会議室

審議事項：平成 29 年度事業報告・決算報告

報告事項：その他

議長は、山本専務理事の説明に対し、質問・意見の有無を確認し議場に諮った。特に意見はなく、第 1 号議案は原案通り、承認・可決された。

### 第 2 号議案 平成 28 年度事業報告

渡邊事務局長は資料に則り、事業報告の説明を行った。

I. 公益目的事業として、

① 国際貢献事業は FIG・AGU 会議参加状況、海外チームの合宿受入

- 10ヶ国、コーチ派遣2ヶ国等。
- ② 競技力向上・選手派遣事業は種目別の大会派遣成績を説明  
世界選手権では、体操男女、新体操、トランポリンともメダル獲得  
各種目別に開催期日、開催場所、成績等をすべて記載。海外合宿は  
体操ジュニアが中国・フィンランド、トランポリンがロシア、中国、  
イギリスにて実施。
  - ③ 講習会・指導者養成・資格認定・検定事業  
審判講習会、1種カテゴリー認定者、国際審判員講習会cコース  
各種講習会、公認審判員認定数・選手登録数、検定品登録会社8社
  - ④ 競技会開催事業  
国内競技会、地域委員会、体操スクール事業
  - ⑤ 顕彰事業  
功労賞18名、栄光賞11名、最優秀選手2名、優秀選手18名  
優秀指導者10名、優秀審判賞4名

## II. 収益事業

- ① マーケティング事業  
スポンサー関連は、トップスポンサー、サプライヤー等12社協賛  
FIG放映権 2017-2024年、テレビ朝日、体操・新体操・  
トランポリン等6種目
- ② 出版物販売事業  
各競技採点規則、教本等の販売、研究部報117号、118号発刊。

議長は、渡邊事務局長の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮った。特に意見もなく、第2号議案は原案通り、承認・可決された。

### 第3号議案 平成29年度決算報告

渡邊事務局長は、資料に則り、次のとおり、決算報告を行った。  
決算報告に先立ち、竹田監事より、平成29年度年度決算報告書の監査報告書を読み上げ、報告した。

決算報告は、決算概要および決算報告書から成り立っている。

- (1) 正味財産増減計算書 金額単位：千円
  - ・収支予算を達成し、2億8百万円の黒字となった。

	予算	実績	差額
経常収益	1,214,566	1,482,995	268,429

経常費用	1,030,585	1,274,766	244,181
正味財産増減	183,981	208,229	24,248

・主要科目別明細（前年度比較）

【事業収益】 FIG 放映権(152,250 増),登録料(9,531 減),  
受取補助金等(45,380 増),雑収入(4,690 減)他

【事業費】 国内宿泊費(60,399 減),業務委託費(71,997 減),  
放映権償却 (31,859 増), 諸謝金(37,578 増),

雑費(74,892 減)等 前年度は、FIG 総会・報告演技会実施

(2) 貸借対照表 金額単位：千円

総資産 723,656 負債 240,912

期末正味財産（純資産） 482,744 となり、208,229 の増加。

現預金は前年比大幅増加(60,848)により、キャッシュフロー改善。  
前受金は、FIG 放映権入金に伴い、145,797 増加。

その他助成金状況、強化費用、大会実績、経営数値推移等説明。

(3) 今後の課題

今年度決算を通じて、課題として、体操・トランポリンの登録一本化により、登録料収入の減少と体操スクール収支の悪化があり、この2つについて、抜本的対策を立案し、改善を図る予定。

本件は、評議員会審議事項となる。

議長は、渡邊事務局長の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮った。特に意見もなく、第3号議案は、原案どおり、承認・可決された。

#### 第4号議案 第72回全日本体操団体選手権大会要項

山本専務理事より、資料に則り、次の説明があった。

出場資格については、2018年5月の常務理事会にて承認済み。

体操男子、体操女子ともに16チーム。

使用器具について、2018年度は、セノー社製2011世界体操東京大会仕様を採用してきたが、セノー社製（2018製品カタログ版）に

において、男子 跳馬・平行棒、女子 跳馬・段違い平行棒が新しい仕様となった。

事業委員会としては、2018 団体選手権にて、2018 カタログ版を採用したいという提案。

議長は、上記の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮った。特に意見もなく、第 4 号議案は原案通り、承認・可決された。

#### 第 5 号議案 器械・器具検定申請について

遠藤総務委員長は、資料に則り、次のとおり、説明を行った。  
当協会検定品登録会社Ⅱの(株)イーグルからの申請。

##### Spieth 社製

体操競技 ゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒、段違い平行棒、平均台、跳躍版（ソフト）、跳躍版（ハード） 新体操 ゆか 計 11 件

席上、塚原副会長より、検査は終わっているのか？との質問に対し、検査済で、FIG の証明書付との回答があった。

議長は、遠藤総務委員長の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮った。特に意見もなく、第 5 号議案は、原案通り承認・可決された。

#### 第 6 号議案 その他

特になし

### 10.報告事項

#### 第 1 号報告 体操男子 2018 年度日本代表合宿スケジュールについて

水鳥男子強化本部長より、次の説明を行った。

対象：世界選手権代表、アジア競技大会代表、ユース五輪代表、WC 種目別東京五輪予選代表（各大会まで）

- ・ 第 1 回ナショナル強化合宿 7 月 8 日(日)－14 日(土)  
7 月 11 日 マスコミ公開 14 時～
- ・ 第 2 回ナショナル強化合宿 7 月 23 日(月)－29 日(土)  
7 月 27 日 アジア競技大会試技会

- ・第3回ナショナル強化合宿 8月31日(金)－9月5日(水)  
9月4日 試技会
- ・第4回ナショナル強化合宿 10月1日(月)－6日(土)  
10月2日 試技会(5－4－3) マスコミ公開  
10月5日 試技会(5－3－3)

## 第2号報告 大会解説者について

田中広報委員長より、夏季大会の解説者につき、次の報告を行った。

- ・第33回世界トランポリン選手権大会日本代表選考会  
会場内解説(石田正人)
- ・第72回全日本体操競技種目別選手権大会  
日本テレビ解説(男子:鹿島丈博・女子:黒田真由)  
会場内解説(男子:田中光・女子:明名亜希子)  
会場内特別(有料)解説(遠藤幸一・沖口誠・上村美輝)
- ・第18回アジア競技大会(ジャカルタ・パレンバン)  
NHK解説(馬場亮輔・上村美輝)、TBS解説(斎藤良宏・新竹優子)

二木会長 場内解説は大変良く分かりやすい。何セットか？

⇒有料1,000円で300セット分(入場料+1,000円で販売)

塚原副会長 テレビ局の解説者は、TV局からの指名か？

⇒現状は、テレビ局の指名であるが、今後は、事前に強化本部等の意見等を聞いて、決めていくようにしていく。

## 第3号報告 2018全日本個人総合選手権体操女子誤審報告について

竹内審判委員長より、資料に則り、下記の説明を行った。

4/28-29開催の大会において、誤審が発生。

審判本部による採点検証の結果、種目ゆかのDスコアにミスが認められるとの報告が審判本部長より、審判委員長に提出された。(5/15)

対象選手:西野美都季選手(日本体育大学)

予選 4.3⇒5.0 決勝 4.1⇒4.8

5/19 正副会長、関係役員による会議を開催、今後の対応と指導案を決定。

採点ミスがNHK杯予選通過や世界選手権、アジア競技大会代表選手選考に直接影響はなかったが、審判業務についての公平公正かつ正確に行うよう

指導している中で、故意やバイアス等ではないが、Dスコアの採点ミスという誤審であり、今後、再発防止に向けて審判教育と厳正な指導を行うことが報告された。

**【指導内容】**

- ・審判長、当該種目審判は、始末書提出の上、審判活動を停止して、再教育。  
大森智子審判長、D2大川由美子審判：5/20～8/31 まで審判活動停止  
D1 黒須真希審判：2018 全日本種目別選手権審判活動停止
- ・活動停止期間中に本部長、審判員にはそれぞれの再発防止の教育を行う。

塚原女子本部長 検証時期が遅い。

塚原副会長 今後、世界選手権等もあり、審判配置等再検討をお願いしたい。

**第4号報告 所属/個人スポンサー契約条項違反の対応について**

山本専務理事は、資料に則り、下記の説明を行った。

昨年 12 月に制定実施した登録選手のマーケティング活動に;関する規程に準じて行うものとする。

- ・違反行為があった場合

個人、代理人に対する注意勧告、停止勧告等を実施後、違反行為改善後、日本体操協会常務理事会・理事会にて、違反行為についての処分を決定する。

- ・その他については、都度協議して検討するものとする。

具志堅副会長 個別案件がわからない。

⇒個別案件を許諾の都度、常務理事会へ報告をあげることとする。

**第5号報告 2018AGU 総会開催について**

渡邊事務局長より、口頭により、次の報告を行った。

開催日程 12月15日(土) - 12月17日(月)

開催地 カタール・ドーハ

役員改選立候補関連

2018年9月15日までに詳細履歴書と写真を提出のこと。

提案日程 仮登録 8月15日 最終登録 9月15日

ネーム登録 10月15日

立候補及びプロポーザル締切 9月15日

現行役員 一般体操 荒木達雄、新体操 山本里佳、  
エアロビック 八木タミー、アクロ 磯前方章  
依頼事項 8月8日の常務理事会に立候補予定者の申請をお願いしたい。

## 第6号報告 その他

特になし

## 11.閉 会

議長は、すべての事項の終了を確認し、14時20分に閉会を宣言した。

平成30年6月10日

議事録署名人 二木 英徳

議事録署名人 竹内 輝明

議事録署名人 竹田 幸夫

議事録署名人 高橋 史安